

よく考える賢い子・思いやりのある優しい子・体を鍛える逞しい子



広田 PRIDE



広田小学校 学校だより 令和3年10月8日 文責 校長 梶山 和彦

## 前期終了 ご協力ありがとうございました！

本日をもって、前期を終了いたしました。昨年度に引き続きコロナ禍の中での教育活動でしたが、皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に終了することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。延期や中止の教育活動も出ましたが、感染レベルも下がってまいりましたので、後期は、学校でできる感染防止対策を行いながら、実施できるように努めてまいりたいと考えています。3日間の秋休み、ご家庭で、地域でのご指導よろしくお願いいたします。

以下、本日、私が子供たちに話した概要を載せておりますので、参考にいただければ幸いです。

前期終業式の話（話し言葉になっている箇所もあることをご了承ください）

今日で、1年の半分、前期が終わります。みなさん、この半年、よく頑張りました。前期の終わりには、4月の初めに頑張っていた「あいさつ」も一段とよくなり、みんなの「頑張る気持ち」が伝わってきました。さて、今日は、皆さんの半年の頑張りを知らせる「あゆみ」が配られます。楽しみな人、ドキドキな人、不安な人、いろんな気持ちの人がいると思います。成績が良かった人、頑張りが結果に出てよかったです。でもそれは、この半年間の頑張りで。残念ながら、この後のことはわかりません。喜びすぎて、気を緩めないように頑張りましょう。結果が出なかった人、成績がちょっとがっかりだった人、これも、この半年間の結果です。この後もずっと悪いということではありません。これからの半年は、また再スタートです。どこを頑張ればいいのかを、担任の先生から聞いて、挽回していきましょう。うさぎとかめの話はみなさん知っていると思います。うさぎのように最初だけにならないで、かめのように、歩みは遅いかもしれないけど、毎日、少しずつ前に進んでいきましょう。

さて、先生たちは、みなさん、一人一人にまたは全員にいろんなことをほめたり、注意したりします。全員という時は、全員にそうなってほしいからです。一人一人に言うこともあります。高学年になるとそれが多くなると思います。人間は、それぞれに得意なことと、苦手なことがあります。得意な人には、それ以上に、苦手な人には、ちょっとでもよくなるようにという気持ちがあるので、一人一人に言い方が変わります。ある人には、課題はできているのに、もっとここを頑張れと言う、ある人には、課題は十分にできていないけど、ここまで頑張ったねと褒める。こんなことがあるわけです。これは、勉強のことだけではなく、生活においても同じです。あいさつが上手で元気な人には、もっと笑顔でとか、だれにでもあいさつをとか言います。挨拶が苦手な人には、まず声を出そう、頭だけでもさげて、口を動かそうと言います。それぞれの得意、苦手で先生たちの言い方は変わるのです。人によっては、学校に来ることが苦手な人がいます。そんな人には、学校に來ただけでも、頑張って來たねと褒めます。授業中、集中することが苦手な人もいます。すぐ眠くなる人もいます。そんな人には、よく集中できたねえ、次もがんばろうとか、練らずにがんばったねえといって励まします。人によって声掛けが変わるのです。みなさんの中には、いいなあ、あの人は、あれくらいで褒められて、ぼくは・・・と思う人もいるかもしれませんが、あれくらいだと思う人は、もう、それが自分の課題ではない、クリアしてるんだと自信をもってください。ゲームと同じで、できないことを少しずつクリアしていくのです。跳び箱をかんたんに5段飛べる人は、なんだそれくらいと思うでしょう。でも苦手な人にとっては、とても難しいことで、3段飛べただけでも大喜びです。それぞれの気持ちの違いがあるのです。不公平という思いがあるかもしれませんが

（つづきは裏面を）

#### 前期終業式の話（つづき）

が、校長先生は、これが公平だと思います。同じ年の人間だからとんでも同じ課題や量というわけにはいかないのです。なぜなら、一人一人、人間は違うからです。校長先生と同じ年のお相撲さんと同じ量だけごはんを食べなさいと言われたら、校長先生は困ります。悲しくなります。年が同じでも、いや年下でも年上でも、人間は、一人一人、ちがいます。その人にあった頑張りがあると校長先生は思っています。

あゆみをもって、他のお友達と比べるのではなく、自分の心と、昨日の自分と比べて、これからがんばることを決めていく人間になってください。あと少し、話は続くのですが、それは、4日後の始業式の日に話します。4日後の始業式、元気なあいさつを校長先生もします。

地域の人にも、元気なあいさつをしながら登校しましょう。

## 10月12日 6年生の始業式は小学校校舎で行います！

コロナ禍になる前（2年前）まで、始業式・終業式は、6年生も小学校校舎に来て行っていました。ここ2年でできておりません。6年生が小学校校舎に来る機会もめっきり少なくなっている状況です。そこで、今回、久しぶりに6年生も小学校校舎で始業式を行おうと考えました。ただ全校児童が一堂に会するのは、まだリスクが高いと考え、6年生は体育館で、他の学年は各学級で行う予定にしております。10月12日、6年生は、小学校校舎の体育館に自宅から直接登校することになりますので、ご協力方よろしくお願いいたします。なお、6年生には詳細のお知らせも本日配付しておりますのでご覧ください。

なお、この他にも後期は、「縦割り遊び」や「クラブ活動」も感染防止を施しながら実施し、6年生が1年生から5年生と触れ合う機会を増やしていこうと考えています。

## 学力調査の結果も来ました！

県学力調査や全国の学力調査の結果が来まし

た。広田小学校の結果は、佐世保市の平均程度で、県や全国の平均をやや下回っている状況です。詳細は、後期初めにお知らせする予定にしております。あと少しで、県や国の平均になりますので、なんとか、市、県、国の平均までは引き上げたいという思いがあり、授業研究で授業の在り方を研究したり、朝のチャレンジタイム（基礎学習のスキルタイム）を改善しているところです。また、広田小・広田中の9年間の子供の学びの習慣、生活の習慣についてまとめたパンフレットを作成しました。後期初めには全家庭に配付予定です。学校と家庭が一体となって、子供の学びの環境、くらしの環境を整え、学力の向上につながればと願っております。

## 11月を軸に授業参観、懇談を！

急な計画ではありますが、感染レベルも下がってきましたので、実施できていない授業参観、懇談をしたいと考えています。密を避けるために、学年別に期日を設定することになりますので、お休みを取りにくいとは思いますが、参加いただければ幸いです。

期日につきましては、現在、調整中です。来週早々にもお知らせしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

前期、ご協力ありがとうございました。後期もよろしくお願いいたします。

